利用者と地域資源（人）の関係性

〇近隣住民
本人との軋轢が生じており、過去５年間近所付き合いが断絶している。民生委員の男性（60 歳）だけは、幼少期から本人のことを見守っており、よき理解者。困ったことがあれば力になりたいと言っている。
〇コーヒーショップ店員 B 子さん（30 歳）
本人行きつけの近所のコーヒーショップ店員。優しく笑顔が素敵な 30 歳女性。本人が好意を寄せている。

利用者と社会資源（人）との関係性

〇病院・・・信頼する前主治医（現在は退官）から引き継がれた現主治医より定期受診（月 1 回）
〇訪問看護・・・週２回利用しており、看護師との関係性は良好
〇生活介護・・・週３回利用。陶芸作製やドリップコーヒーを振る舞う等、興味・関心のあるものには精力的に参加する。
〇相談支援専門員・・・2 年前のセルフプラン作成の補助からの付き合いで、本人曰く、話のわかる存在
〇就労支援事業所・・・働きたいという希望から相談支援専門員が紹介した事業所。

相談支援専門員と地域資源（人）および社会資源との関係

〇近隣住民（民生委員の男性 60 歳）・・・担当者会議で初顔合わせ。近隣住民との関係性修復に向けて頼もしい存在。
〇コーヒーショップ店員 B 子さん・・・近隣関係・就労関係のきかっけとしても接点を増やせたらと模索中
〇病院・訪問看護・・・在宅医療の全面的サポートを約束いただいている。情報共有を密に連携している。
〇生活介護・・・日中支援の要として、密に連携している。
〇就労支援事業所・・・就労経験のない本人が好きなことを仕事にするためにはどうすればいいのか相談している。

チームプローチの展開で困っていることへの対応策

演習時に記載